

平成21年6月19日

各 位

会社名	マネックスグループ株式会社
代表者名	代表取締役社長CEO 松本 大
コード番号	8698(東証第一部)

平成21年6月20日開催の第5回定時株主総会終了後に実施する株主説明会の資料です。

以 上

この資料に掲載されている事項のうち、過去の実績・事実でないものは、将来の業績に関する見通しが含まれています。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。

口頭もしくは書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断にもとづいています。実際の業績は、さまざまな要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しの上に全面的に依拠することは控えるようお願いします。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。

実際の業績に影響を与えるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。

- (1) 当社の顧客獲得や顧客基盤を継続的に維持する能力
- (2) 当社が事業において収益を計上する能力
- (3) 日本国内における株式委託業務に対する需要の変化
- (4) 当社が事業継続するために必要なシステムを維持または拡充する能力
- (5) 当社が主要株主とよい関係を維持できる能力

ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。

また、掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り等に関し、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。この資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願いします。

マネックスグループ株式会社
株主説明会

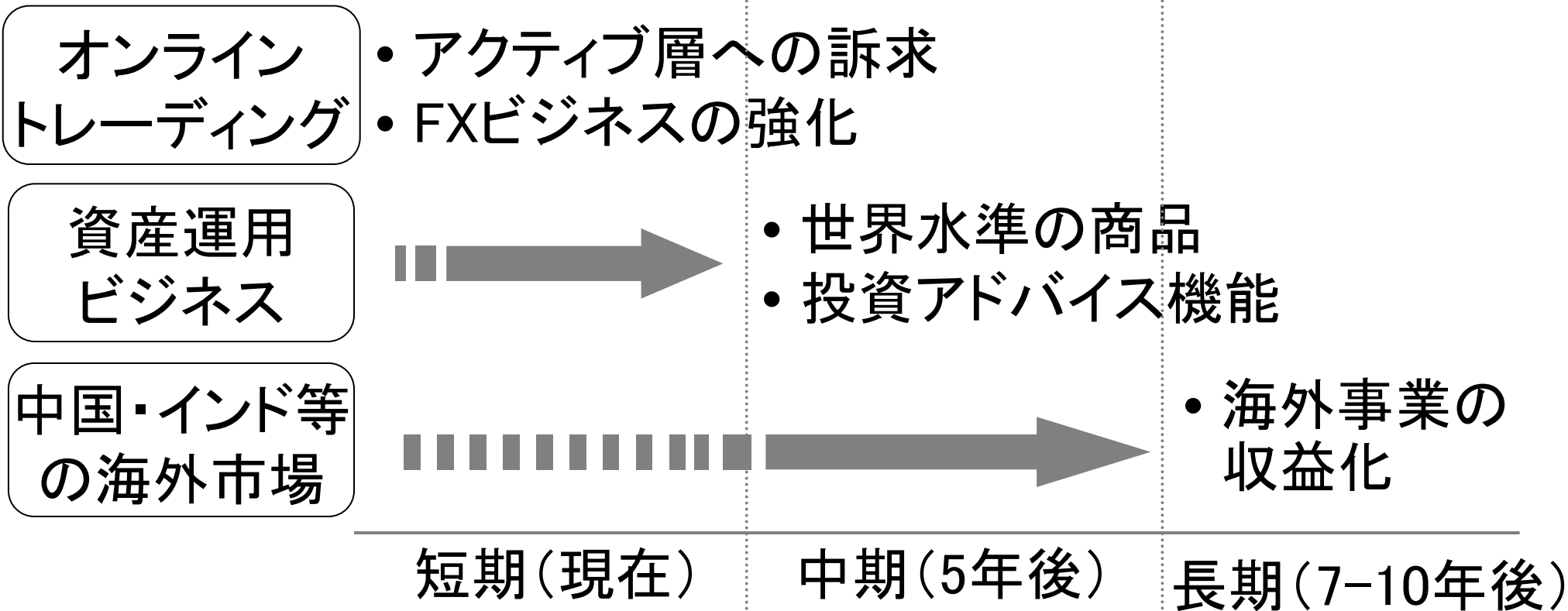
マネックスグループの事業戦略について

マネックスグループ株式会社
代表取締役社長CEO

マネックス証券株式会社
代表取締役社長CEO

松本 大(まつもと・おおき)

今後の成長性と具体的な経営施策



最先端の技術と世界水準の商品・サービスを提供する
グローバルな個人投資家向けオンライン金融機関

マネックス証券の経営方針と短期戦略について

マネックスグループ株式会社

代表取締役副社長CFO

マネックス証券株式会社

代表取締役副社長COO

工藤 恭子(くどう・きょうこ)

マネックス証券の事業戦略

■基本的な方向性

- オンラインによる個人のための総合金融サービスを提供
- 機関投資家と同水準の投資機会を個人投資家に提供

■マネックス証券が提供する商品・サービス

- 世界中から、幅広い金融商品・サービスを選別
- 投資教育の拡充、展開
- システム、商品・サービスのインフラに加え、「知のインフラ」を構築

短期経営戦略：コスト削減による損益分岐点の低減

2009年度予算のポイント ～ 10億円規模のコストカット

- ・ システム関連コスト、情報料等の削減
- ・ マーケティング戦略、サービスの見直し



四市場の一日平均個人売買代金が4,500億円水準でも
黒字化できるコスト体質を実現



コスト構造のさらなる改善に向けて

- ・ 商品・サービスの再評価
- ・ 組織の再編と業務の統廃合
- ・ ITの活用

短期戦略: オンライントレーディング(1)

■ アクティブ・トレーダー層への訴求

トレード・サイエンスの完全子会社化(2008年7月)
グループ内研究開発機関としても機能

最先端の情報科学と金融工学の成果を個人投資家へ還元



- 自動株式売買ロボット「カブロボ[®]」の展開
「カブロボ[®]」が投資助言する公募投信を設定予定
- トレーディングツールの開発
マネックス証券およびマネックスFXで提供予定

短期戦略: オンライントレーディング(2)

■ FXビジネスの強化

マネックスFXの子会社化(2008年4月)

- ・ マネックスブランドのFX専門会社
→FXを主に取引する投資家層へのアクセス
- ・ FXトレーディング業務の集中管理
→為替のカバー収益を内製化
→取引手数料無料化
- ・ FXシステムのASP提供
(マネックス証券で新FXサービス「FX PLUS」を開始)
→機動的なサービス展開

マネックス証券の中期的な商品・サービス戦略について

マネックス証券株式会社

取締役

商品サービス部長

萬代 克樹(まんだい・かつき)

中期戦略：資産運用ビジネス(1)

■ 既存商品のサービス拡充と、 世界中からの商品ラインナップの構築

株式関連

- 米国ETF、米国株を取扱開始。個別銘柄を拡充予定
- 先物・オプションの改善や、新規トレーディング商品の導入などを計画

投資信託

- 1年間で66銘柄追加、総取扱本数193銘柄へ大幅拡充
- 投資家視点で、独自商品を企画・組成
- 個人の資産形成に役立つ、投信積立の利便性向上を予定

債券

- 「個人向けマネックス債」6ヶ月債、日経平均リンク債を取扱

マネックス証券の中期戦略「知のインフラ」について

マネックス証券株式会社

取締役

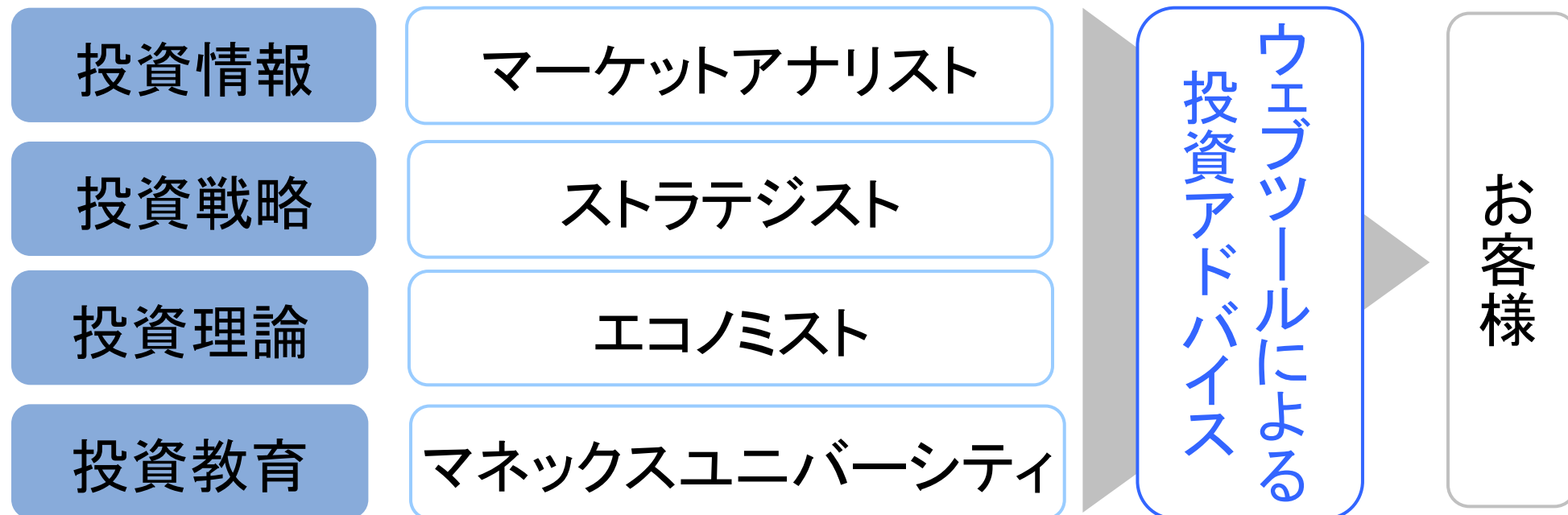
フィナンシャル・インテリジェンス部長

蓮尾 聡(はすお・さとし)

中期戦略：資産運用ビジネス(2)

■「知のインフラ」の構築

投資リターンの向上を目的とする、マネックスの新しい価値



ITをベースとした新しいインフラ

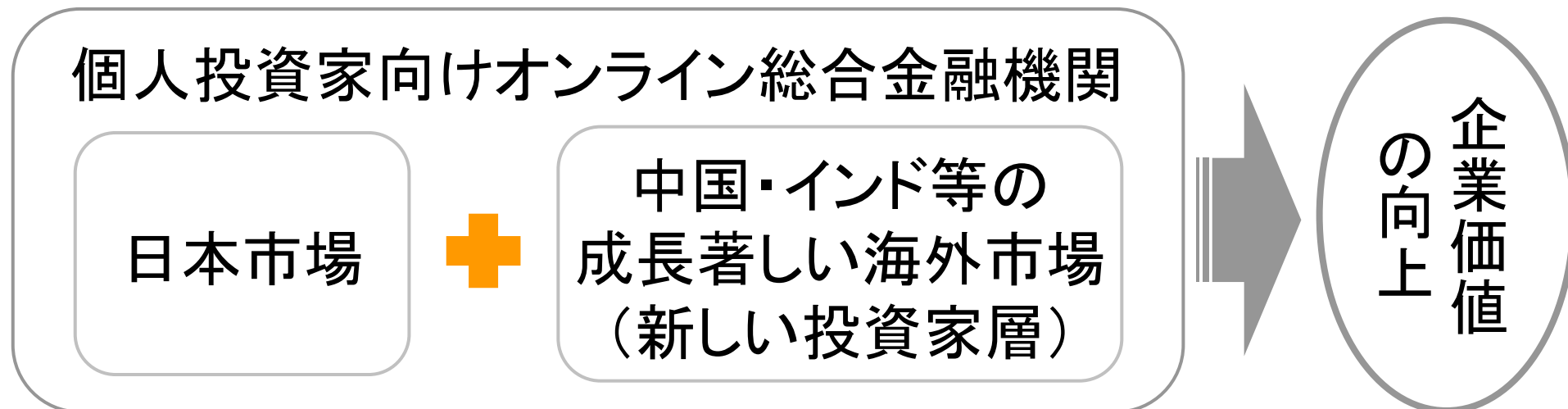
マネックスグループの長期戦略としての海外展開 および企業価値向上と株主還元について

マネックスグループ株式会社
代表取締役社長CEO

マネックス証券株式会社
代表取締役社長CEO

松本 大(まつもと・おおき)

長期戦略：海外展開

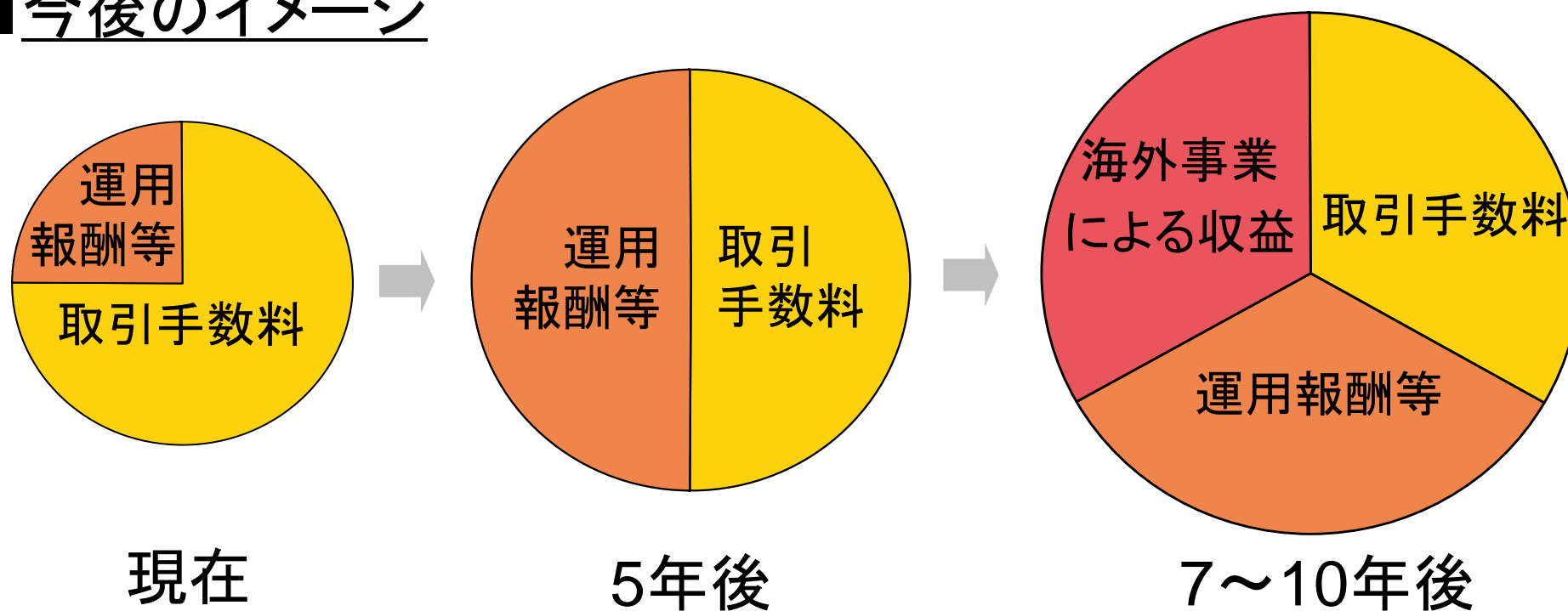


■具体的な展開

- 北京にマネックスグループの駐在員事務所を開設
- SEEC(中国証券市場研究設計中心)と合併会社設立に合意
北京で金融教育(研修)サービスを開始予定
- インドでの事業可能性について調査し、拠点開設を検討

収益構造の戦略的転換

■ 今後のイメージ



高付加価値サービス、運用商品等の充実、海外事業の展開により、収益源の多様化および拡大を図る

株主の皆様へ

- 配当と自己株式取得による還元 > 株主優待
- 営業収益の向上 + コストとリスクの管理 ⇒ 最終利益の向上
- 安定成長 + 成長戦略 ⇒ 攻めの経営



企業価値の向上



透明性が高く積極的な情報開示



市場価値に適正に反映されることを目指す